

住民懇談会 まとめ

これからの東浦について

町政について、住民の皆さんと一緒に考えていく住民懇談会を1月31日から2月9日の間、町内6地区で開催しました。

懇談会では、「これからの東浦について」を町のテーマとし、住民の皆さんと活発な意見交換が行われました。その一部を抜粋してお知らせします。

なお、懇談会の内容については町ホームページに掲載しています。



●問い合わせ 役場 秘書広報課 内線223

町テーマ ふるさと納税について

ふるさとと寄附金について、平成27年度からお礼の品の贈呈をはじめたことにより、寄附額が2億円を突破しました。今後も、この事業を通し、東浦町を外部にアピールできるようにしていきたいと考えています。

住民 ふるさと納税の寄附金は何に利用されるのですか。

町 寄付者に寄附金の使い道を指定してもらっています。使い道は5つあり、子ども達がすこやかに育つ事業、高齢者や障害福祉を充実させるための事業、教育の発展を充実させる事業、安全なまちづくり事業、そして町長にお任せとなっています。いただいた寄附金は翌年、指定通りに使わせていただく予定です。

住民 ふるさと納税で、町が支出する金額はわかりますか。

町 平成27年に寄附された2億円に対して商品の金額が35%で、およそ7,000万円となります。

送料などを差し引いて、残る金額は35～40%の7,000～8,000万円ほどです。

町テーマ 田んぼダムと感震ブレーカーについて

これから起きるとされている水害や地震への備えとして、大雨が降ったときに一時的に雨水を貯留する田んぼダム事業および地震を感知すると自動的に電気の供給を遮断する感震ブレーカーを普及させたいと考えています。

住民 田んぼダムはどのくらいの効果がありますか。

町 田んぼダムは明治池東側(緒川)と黒根池南側(藤江)の2地区に設置する予定です。既に設置している先進地では効果があると聞いていますが、今後設置して効果をみていきたいと思います。

住民 感震ブレーカーの設置補助費用はいくらですか。

町 設置費用の2分の1以内、上限2,000円を考えています。

詳しくはP23をご覧ください。





テーマ以外の意見交換

住民 石浜工業団地の 状況を教えてください。

町 企業庁が土地を売却し、現在県内企業の所有となっています。しかし経済状況上、工場建設ができていない状態です。町からも当該企業に工場建設の要望はしています。

住民 町単独で要望しているのですか。

町 町単独でも要望していますし、企業庁も単独で要望しています。

住民 選挙権が今年から18歳以上と なりますが、子ども向けの事業 計画を来年度計画していますか。

町 現在、子ども達が町について話し合いをする子ども議会などをやっていますが、今後、主権者教育を考えていきたいです。また、様々な形で行政と教育委員会で協力しながら、当事者意識を大切にしていきたいと考えています。

住民 JR緒川駅にエレベーターは 設置されますか。

町 国のバリアフリー法により、乗降者数が1日平均3,000人を超える駅については、バリアフリー化の対象になります。JR緒川駅は、平成26年度に乗降者数が1日平均3,000人となり、平成27年度に乗降者数が1日平均3,000人を超えるとエレベーターなどの設置条件を満たすこととなります。また、設置費用については国、JR、町が3分の1ずつ負担することとなります。

町テーマ ブックスタート 事業について

ブックスタートとは、絵本をプレゼントし赤ちゃんと保護者が触れ合うためのきっかけをつくる活動のことです。

赤ちゃんが4か月、1歳6か月になったら絵本をプレゼントし、町との関わりを継続していく取り組みを始めます。

住民 最近、児童館を利用する人が増えました。理由は、赤ちゃんが生まれると、町の保健センターや委員の人達みんなが関わったためだと思います。ぜひ、ブックスタートなどの政策に児童館も加えてほしいです。

町 ブックスタートは、保健センターや図書館だけでなく、児童館や子育て支援センターうららんにも関連させる予定で、保育園や教育関係に発展できたらと考えています。そして、ブックスタートをきっかけに、皆さんが子育てに安心感を持ってもらえるような政策に繋げていきたいです。

